

第 43 期 決 算 公 告

金沢市広岡2丁目 12 番6号

北國保証サービス株式会社

代表取締役社長 三本松 温賀

貸借対照表

2026年03月31日 現在

北國保証サービス株式会社

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	6,973,145,514	【流動負債】	959,837,918
現金及び預金	6,922,302,802	未払金	31,565
求償債権	130,915,930	未払費用	16,266,495
前払費用	13,515	未払法人税等	14,539,100
未収利息	7,673,997	預り金	3,063
未収保証料	3,003,814	前受保証料	928,841,095
仮払金	1,656,900	賞与引当金	156,600
貸倒引当金(他)	-92,421,444	【固定負債】	339,145,143
【固定資産】	134,426,125	保証債務損失引当金	339,145,143
有形固定資産	6,061	負債の部合計	1,298,983,061
土地	6,061	純資産の部	
無形固定資産	728,288	【株主資本】	5,808,588,578
電話加入権	513,188	資本金	90,000,000
ソフトウェア	215,100	利益剰余金	5,718,588,578
投資その他の資産	133,691,776	利益準備金	22,500,000
投資有価証券	77,100,000	その他利益剰余金	5,696,088,578
敷金	12,000	任意積立金	500,000,000
繰延税金資産	56,579,776	繰越利益剰余金	5,196,088,578
		純資産の部合計	5,808,588,578
資産の部合計	7,107,571,639	負債及び純資産の部合計	7,107,571,639

個別注記表

2025年04月01日 ~ 2026年03月31日

北國保証サービス株式会社

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券の評価は、その他有価証券については時価法（売却原価は移動平均法により算定）、ただし市場価格のない株式等については移動平均法による原価法により行っております。なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定率法を採用しております。

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）ならびに2016年4月1日以降取得した建物附属設備および構築物については定額法を採用しております。

②無形固定資産

社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒れの損失に備えるため、貸倒懸念債権等特定の債権について個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

②賞与引当金

賞与引当金は、従業員への賞与の支払いに備えるため、従業員に対する賞与の支給見込額のうち、当事業年度に帰属する額を計上しております。

③保証債務損失引当金

保証債務の損失に備えるため、「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する保証債務損失引当金につきましては、当事業年度末の予想損失率を適用して計上しております。

(4) リース取引の処理方法

リース取引の処理方法は、リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理をしております。

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

有形固定資産に係る控除対象外消費税等は当事業年度の費用に計上しております。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度の末日における発行済株式の数 普通株式 1,800株

3. 当期純利益

当期純利益 163,074,329 円